



草の根

第42回

No. 2

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、ジェンダー平等と持続可能な世界を創立60年へ新婦人大きく

今期は当初からコロナの影響でさまざまな活動が制限されました。六月に入り少しづつですが、活動が再開されてきました。支部でも各専門部が動き初めています。それぞれの部長さんにメッセージをいただきました。

<組織部&機関紙部長> 堀川心く

6月6日の部会報告から、委員会活動の手引きから「組織部は要求実現の力をおおきくしていく仲間づくりを、いつでもどこでもすすめ、班がいきいきと元気で大きくなることをめざして活動します。・・・」と学習し、まず「草の根」の定期発行を支部として目指します。班や小組の紹介から、ニュース性ある情報なども掲載していきたいと話しました。

<くらし部長> 寺澤和代

くらし部は年間を通じて、毎月24日に遠鉄新浜松駅で「消費税廃止各界連絡会」の消費税減税(廃止)街頭署名行動に参加しています。また今年は海洋汚染の原因ともなるプラスチックの削減のために、脱プラ問題の学習資料や会員の皆さんの取り組みをニュースで交流したいと考えています。皆さんの投稿をお待ちしています。

<社会保障部長> 田中みよ子

コロナ禍で、介護施設や家庭では体温を計ったり、衛生面でも、神経をピリピリされていると思います。コロナ禍前から介護職員が不足し、経営難の施設があることは耳にしていたことなのにたいへんなことが起きることは誰もか予想できなかったわけです。高齢化社会も間近に迫ってきています。介護職員がやりがいを持って働けるよう、早急に改善してほしいと思います。皆さんと一緒に学びながら進めていきますのでよろしくお願ひします。



<産直部長> 布施晴美

今日本の食料自給率が39%と言われていますが、私たちは農産民連のみなさんとお互いの顔が見えるお付き合いをしています。安心・安全をもつと、私たちの食卓を彩る生産物をもつとまわりに広げていきたいと思っています。今回のコロナ禍で改めて自分の国に必要なものは自国で作ることが必要と再確認されました。生産者さんたちとも交流を深め、食について考えていく学習会を企画していきたいと思っています。

レイラからのお知らせ

コロナ感染症対策で新しい生活様式が必要とマスクが必需品になりました。マスクを外したら真っ黒な顔ではがっかりですね。マスクをしていても日焼けはします。シェイクローション、Biエッセンスで肌を整え、メイクアップベース又はUVクリームを付け、パウダリーファンデーションをはたきましょ。眉を整えアイシャドー 頬紅は高め位置にします。これでマスクOKです。!!



<平和部長> 鈴木治子

今年はコロナ禍で核兵器廃絶の署名の取り方も、テーブル一つにして核兵器をやめさせよう！とアピールしていきます。今まで充分自粛したのでこれからだんだん本調子になっていけるといいな！と考えています。



<母親&働く女性部長> 伊熊真理子

コロナ禍自粛で母親諸集會も中止延期、自宅軟禁の中、「元気の源は皆で集まり話す事」を再確認！「新基地ノー」の民意を示した沖繩で日本母親大会を成功させ、生命と平和・くらしを守る母親運動をすすめていきます。



<財政部長> 布施晴美

支部財政の健全性と効率化を図りコンピューター管理になって数年が経ちました。会員減少に伴い厳しい状況ではありますが、これからも活動が縮小、停滞することがないように、大会で決定した予算通り財政活動ができるよう努力していくつもりです。

<子どもと教育部長> 伊藤里実

40代の新支部委員を含め、3名で「子どもと教育部」がスタートしました。今、子どもたちは「新型コロナ」による休校で、学習の遅れが生じ親は収入減により支援を必要とする家庭も増えています。早急に、教育委員会に「要望書」を提出していく予定です。



<リズム部長> 伊藤真弓

新型コロナウイルスの影響で活動を休止していた親子リズムも、やっと活動再開となりました。第2波のことなど考えると、活動において不安な部分は多いですが、その都度、部会で話し合い、リズム会員のお母さんたちと話し、浜松支部の先輩会員さんたちにアドバイスをいただきながら頑張ろうと思っています。よろしくお願ひします。

これからの予定

- 7/ 5 (日) 水学習会 13:30
福祉交流センター 大会議室
- 7/ 9 (木) 9の日行動 13:00~ キタラ
- 7/10 (金) ピースアクション 11:00~
- 7/11 (土) ブルーベリー狩り 9:00
新婦人事務所集合
- 7/18 (土) ヒバクシャ署名 13:00~ キタラ
- 7/20 (月) 原発裁判 11:00~ 裁判所
- 7/21 (火) 市民の会総会 アイミティ浜松
- 7/24 (金) 消費税行動 13:00~ 遠鉄新浜松駅

新緑を求めて

細江班 野沢里子

5月23日「いなさ湖」「久留女木の棚田」方面へ散策に出かけました。会員7名ゲスト3名 晴天に映える新緑に深呼吸。きもちいい〜。棚田は保全活動に取り組んでいるNPOのメンバー、その賛同者達。子ども含めて田植えの真っ最中でした。お昼は湖面に映える新緑を眺めながらコテージでお弁当とおしゃべり、ゲストに「新婦人ってこんな会」と新聞を渡し細江班の活動状況などを話し、新婦人を知っていただきました。帰宅途中、川名の「国指定有形文化財」の前嶋家（江戸時代後期の農家）を訪れました。突然の訪問にもかかわらず、当家の奥様が快く案内をして下さり感謝。いなさの自然と歴史の豊かさに感銘を受け又久し振りの交流ができ、充実した楽しい一日でした。



継続は力なり

くじ班 伊藤信子

退職後13年程ヨガを続けています。それは筋力、体力と健康維持のためです。おかげ手70代半ばの今も元気で過ごすことができています。これはヨガを続けてきた結果でまさに「継続は力なり」です。またヨガの後、友人たちとランチしながらおしゃべりするのも健康の秘訣です。家族、病気、政治など幅広い話題で楽しく過ごす時間は癒しのひとときです。今家族がコロナに感染しないか、不安な日々を送っています。一日も早い新型コロナの終息を願っています。



にこにこ班 中田寿美子

にこにこ班は中田島団地を中心に作られた班でした。現在は会員4人読者7人で、団地にいるのは班長、読者、私のみの寄り合い班です。小さな班で班会もままならない状況です。

ただ2年前に京都から転入して来た子育て中のTさんが支部委員を引き受けてくれました。40代の彼女と支部創立メンバーの班長の初顔合わせが当面の目標です。



班会&小組活動あれこれ

各ブロックから班の様子・班会の様子・会員の思いや作品を紹介しします。

ゴキブリ団子づくり

うみがめ班 久米恵子

ジメジメした梅雨に入り、暑い夏がやってきました。これから大嫌いなゴキブリも、いっしょにやってきます。私が40代の頃に、愛読している「暮らしの手帖」で、このゴキブリを殺すゴキブリ団子の作り方を知りました。初めて作った時、その効果にビックリしました。団子に含まれる硼酸が、ゴキブリの身体から水分を奪い、脱水症状を起こし、干からびてミイラのようになり死んでしまうのです

それからは毎年作っていました。新婦人に入会した時、班の皆にこの事を話したら「私たちも作りたい」「作ろうよ」ということになり、班活動の一部として毎年作られるようになったのです。「少なくなった」「あまり姿を見なくなった」「死んでいるのを見つけた」とか、皆が喜んでくれたので、私もうれしく思っています。



藤九郎班
上久保洋子さんの作品



会員として

すみれ班 林シマヨ

私の会計ノートはもう40年にもなりました。会員の移動や読者の変更、支部への納入等自転車で行った時もありました。これも会員さんの協力なくしては続けることはできませんでした。会員、読者さんにつながっている事がどんなに大切な事かつくづく感じます。一人ではやれなかった年月だと思いました。今は集める事しかやっていないけど、これも立派な任務なのかなと自負しております。

ゴキブリ団子の作り方

<材料>

- ・ホウ酸 500g (粉末)
- ・玉ねぎ 中2〜3個
- ・強力粉 140g
- ・砂糖 大さじ2杯
- ・牛乳 大さじ1杯

<作り方>

- ・玉ねぎはすりおろすか、ミキサーでどろどろにする。
- ・材料を全部一緒にし、手でよくこね混ぜて、耳たぶぐらいの硬さになったらダンゴ状に丸める。
- ・夏は一週間、日光乾燥させる。冬または雨天の場合は10日